



産業協力・企業間交流セミナー 中央アジアを読み解く3つの視点 ～政治・経済・エネルギー～

令和7年10月23日（木）
（一社）ROTOBO

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、このたび当会では、経済産業省の助成を受け、掲題セミナーを2025年11月18日（火）に東京で、オンラインとのハイブリッド形式にて開催致します。

2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻から3年半が経過する中、当事国と関係の深い中央アジア諸国に対する地政学的注目度はますます高まっています。特にカザフスタンは石油・ウラン等、エネルギー資源の世界的産出国であるばかりでなく、中央アジアにおける日本の最大の貿易相手国であり、日本企業にとっては一定の局面でロシアの代替となりうる可能性を秘めた存在です。同国はまた、昨年8月に延期となった「中央アジア+日本」サミットの議長国でもありました。

このような現状認識のもと、本セミナーではカザフスタンから3名の専門家を招聘し、それぞれ政治、経済、エネルギーという3つの視点から、ウクライナ開戦から3年半後のカザフスタンと中央アジアの現状を分析、また日本との関係発展の可能性について展望します。

参加ご希望の方は、別紙1のプログラムをご確認のうえ**11月14日（金）まで**に下記参加登録フォームよりお申し込みください。議論を深めるため、同登録フォームにて各講師に向けた事前のご質問も承りますので、ご希望の方はご利用ください。

皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

記

- ◆日 時： 令和7年11月18日（火）14:00～16:30 ※16:30～17:00 ネットワーキング
- ◆会 場： ホテル・ニューオータニザ・メイン アーケード階 おり鶴「翔の間」
 - ▶会場へお越しになれない方のために、Zoomによるオンライン配信も行います（ブラウザ上から参加できるためソフトをインストールする必要はありません）。
 - ご希望の方は申し込みフォームの所定の項目にチェックをお願いいたします。申し込み締め切り後、11月17日（月）に配信リンクをお送りします。
- ◆主 催： （一社）ROTOBO
- ◆内 容： 別紙1参照 /◆言 語：日露同時通訳 /◆参加費：無料 /◆定 員：60名
 - ※対面式のセミナーへのお申し込みは定員になり次第、締め切らせていただきますのでご注意ください。
- ◆お申込み方法および締切：
11月14日（金）日本時間17:00までに、下記フォームよりお申し込みください。
※参加登録フォームリンク：<https://jp-kz.org/p006975>
- ◆問合せ： （一社）ROTOBO ロシアNIS経済研究所（担当：中馬（ちゅうまん）、森、大内）
TEL:03-3551-6218 E-mail: central-asia@rotobo.or.jp

産業協力・企業間交流セミナー

中央アジアを読み解く3つの視点 ～政治・経済・エネルギー～

プログラム

2025年10月23日現在

時間	プログラム
13:30-14:00	開場
14:00-14:05	■ モデレータ開会挨拶・インストラクション 輪島 実樹 （一社）ROTOBOロシアNIS経済研究所 副所長兼調査部長
14:05-14:45	■ 報告 ◆政治「中央アジアの危うい地政学的均衡～その動向、リスク、そしてチャンス」 D. サトパエフ Kazakhstan Risks Assessment Group 代表
14:45-15:25	◆経済「中央アジアを読み解く視点～経済から」 V. ドドノフ カザフスタン科学・高等教育省 科学委員会 哲学・政治学・宗教学研究 主任研究員
15:25-16:05	◆エネルギー「ウクライナ戦時下のカザフスタンの石油・ガス産業～クレムリンと北京のはざまで」 O. チェルピンスキー 『Petroleum』誌 編集長
16:05-16:30	■ 講師3名とモデレータによるディスカッション／質疑応答
16:30-17:00	■ 閉会／ネットワーキング（名刺交換会）

■□■ 報告者紹介 ■□■



ドシム・サトパエフ （Dossym SATPAYEV）

中央アジアおよびカスピ海地域の政治・経済リスク分析を専門とするカザフスタンの民間調査分析機関「Kazakhstan Risks Assessment Group」代表、政治学博士。TV・新聞等国内メディアに頻繁に登場し分析を披露、在野の論客として知られる。近著に『カスピ海資源ブームをめぐる課題：国内エリートとポリシー・メイキング』（2012）、『トワイライトゾーン：移行期の罫』（2013）、『カザフスタン：移行による試練』（2019）、『人類・中央アジア・カザフスタンの未来に関する35の質問』（2025）等。



ヴァチェスラフ・ドドノフ （Vyacheslav DODONOV）

カザフスタン共和国科学・高等教育省科学委員会哲学・政治学・宗教学研究 主任研究員、経済学博士。国内外で250本を超える論文を発表、政府機関・企業体による多数の研究への参加実績、国際会議・フォーラムへの参加、報告経験をもつ。主な研究対象は株式市場、ポートフォリオ管理、世界経済、経済危機、国家経済規制、マクロ経済等。近著に『日本の経済成長変化の財政的要因』（2017）、『カザフスタンの国際投資協力：傾向、要因、展望』（2019）、論文「多極化する世界で中央アジア諸国が自らを位置づける経済的前提条件」（2024）等。



オレグ・チェルピンスキー （Oleg CZERWINSKI）

2000年創刊のカザフスタンの代表的石油・ガスビジネス専門誌『Petroleum』編集長。同国独立後初の石油・ガスメディア『カザフスタンの石油・ガス』誌の創設者兼編集長。また、Telegramチャンネル『カザフスタンの石油・ガス：ファクトとコメント』の運営・執筆者。カスピ海地域の石油・ガス問題の専門家として分析・論評を新聞等国内・海外メディアで発表。カザフスタン・ジャーナリスト連合メンバー、カザフスタン・ジャーナリズムアカデミー会員。近著に『カザフスタンの黒い血：独立のオイル・ヒストリー』（2017）、続編『カザフスタンの黒い血：ナザルバエフ時代』（2022）等。現在、ポーランド在住。